

1日目：7月9日(金) プログラム

A会場(3F グランデI)

8:50~9:00 開会式

9:00~11:00 シンポジウム1【がん免疫療法の新展開】 抄録P.77

座長：河上 裕(国際医療福祉大学 免疫学)
藤本 学(大阪大学 皮膚科)**SY1-1** 免疫チェックポイント阻害剤の耐性メカニズムを考える富樫庸介(とがし ようすけ)
岡山大学 腫瘍微小環境学講座**SY1-2** 免疫チェックポイント阻害剤の作用機序とバイオマーカー猪爪隆史(いのづめ たかし)
千葉大学 皮膚科**SY1-3** 複合がん免疫療法の開発谷口智憲(やぐち とものり)
京都大学 がん免疫総合研究センター**SY1-4** 固形がんに対する遺伝子・細胞治療の開発中沢洋三(なかざわ ようぞう)
信州大学 小児医学教室

11:10~11:40 石原・池田賞表彰式・発表

11:50~12:50 ランチョンセミナー1【メラノーマエキスパートから学ぶ臨床経験とエビデンス】

抄録P.93

座長：藤澤 康弘(筑波大学 皮膚科)

LS1-1 メラノーマの治療戦略～次の一手をどうするか？～大塚篤司(おおつか あつし)
近畿大学 皮膚科

LS1-2 メラノーマの治療戦略～実臨床から学ぶ副作用マネジメントのポイント～
吉野公二 (よしの こうじ)
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

共催：MSD 株式会社

13:00～14:30 シンポジウム 2【皮膚リンパ腫の診断と治療の最前線】 抄録 P. 81

座長：金蔵 拓郎 (鹿児島大学 皮膚科)
天野 正宏 (宮崎大学 皮膚科)

SY2-1 皮膚リンパ腫の最新分類と診断
菅谷 誠 (すがや まこと)
国際医療福祉大学 皮膚科

SY2-2 皮膚リンパ腫の最新治療
藤井一恭 (ふじい かずやす)
鹿児島大学 皮膚科

14:40～15:00 会長講演

奥山隆平 (おくやま りゅうへい)
信州大学 皮膚科

15:00～16:00 特別講演 1 抄録 P. 59

座長：奥山 隆平 (信州大学 皮膚科)
戸倉 新樹 (中東遠総合医療センター、浜松医科大学 名誉教授)

SL1 抗がん剤臨床開発におけるビッグデータの活用と課題
大津 敦 (おおつ あつし)
国立がん研究センター東病院 病院長

16:10～17:10 特別講演 2 抄録 P. 60

座長：奥山 隆平 (信州大学 皮膚科)
島田 眞路 (山梨大学 学長)

SL2 ポストゲノム時代のがん治療薬開発は？
野田哲生 (のだ てつお)
がん研究会がん研究所 所長

座長：宇原 久（札幌医科大学 皮膚科）
錦織千佳子（神戸大学 皮膚科）

EL2-1 BASIC～メラノサイト系腫瘍の良悪性はこう見分ける～

福本隆也（ふくもと たかや）
福本皮フ病理診断科

EL2-2 ADVANCED～メラノサイト系腫瘍診断における分子病理学的アプローチ～

後藤啓介^{1,2,3,4,5,6}（ごとう けいすけ）

¹駒込病院 病理科、²板橋中央臨床検査研究所 病理部、³静岡がんセンター 病理診断科、
⁴大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科、⁵大阪医療センター 臨床検査科・病理診断科、
⁶兵庫県立がんセンター 皮膚科

9:00~10:00 一般演題 1 【SCC (1)】

抄録 P. 121

座長：森脇 真一 (大阪医科薬科大学 皮膚科)
 福島 聡 (熊本大学 皮膚科)

B-1-1 神経浸潤を伴った臀部皮膚有棘細胞癌の 1 例

武藤律子 (むとう りつこ)

聖母病院 皮膚科

B-1-2 遠隔転移を伴う術後再発有棘細胞癌に対して cisplatin+adriamycin 療法を施行した 1 例

宮崎 駿¹ (みやざき しゅん)、帆足俊彦¹、玉寄史子¹、村上真奈¹、山田麻以¹、
 水野真希¹、安齋真一²、佐伯秀久¹

¹日本医科大学 皮膚科、²日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科**B-1-3** 真性多血症に対するヒドロキシカルバミド投与中に背部、手背に有棘細胞癌を生じた 1 例

中島香緒里 (なかじま かおり)、大橋洋之、久保麻梨絵、森 瞳子、三石修平、
 貴志有紗、宮野 薫、竹内そら、宮垣朝光、門野岳史

聖マリアンナ医科大学 皮膚科

B-1-4 日光角化症の病変上にケラトアカントーマと有棘細胞癌を認めた 1 例和田昇悟¹ (わだ しょうご)、船積雅登¹、大竹里奈¹、三浦圭子²、並木 剛¹¹東京医科歯科大学 皮膚科、²東京医科歯科大学 病理部**B-1-5** 腸管皮膚瘻から発生した有棘細胞癌の 1 例川平尚生¹ (かわひら ひさお)、藤井一恭¹、大井秀久²、金蔵拓郎¹¹鹿児島大学 皮膚科、²いづろ今村病院 消化器内科**B-1-6** 超音波検査が診断に有用であった右母趾爪甲下有棘細胞癌の 1 例八代 浩¹ (やっしろ ひろし)、関根史織¹、長谷川義典¹、岡村咲由莉²¹福井県済生会病院 皮膚科、²福井大学 皮膚科**B-1-7** 皮膚原発と病理診断された篩骨洞癌木戸一成¹ (きど いっせい)、中島英貴¹、梶山泰平²、佐野栄紀¹¹高知大学 皮膚科、²高知大学 耳鼻咽喉科

座長：久保 宜明 (徳島大学 皮膚科)
山元 修 (鳥取大学 皮膚科)

B-2-1 臀部に膿瘍と瘻孔を形成した有棘細胞癌の 1 例

芦澤慎一 (あしざわ しんいち)、菅 崇暢、松原大樹、齋藤 怜、石田貴子、
坂本 旭、秀 道広
広島大学 皮膚科

B-2-2* 表皮嚢腫から発生したと考えられた右手掌嚢腫型有棘細胞癌の 1 例

杉本貴子 (すぎもと あつこ)、石井暢明、秋元正宇
日本医科大学千葉北総病院 形成外科

B-2-3 著明な圧痛を伴い不幸な転帰を辿った尾骨部有棘細胞癌の 1 例

三井田博 (みいだ ひろし)
新潟県立新発田病院 皮膚科

B-2-4 多発性日光角化症および有棘細胞癌を併発した Hermansky-Pudlak 症候群の 1 例

大瀧 薫^{1,2} (おおたき かおる)、松本崇直¹、野口友里¹、山田朋子^{1,2}、太田洋充³、
出光俊郎¹、梅本尚可¹
¹自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、²さいたま北部医療センター、
³自治医科大学さいたま医療センター 呼吸器内科

B-2-5 G-CSF 産生外陰部有棘細胞がんの 1 例

日浦 梓 (ひうら あずさ)、前田拓哉、中川智絵、豊島梨乃、川嶋久雄、上原治朗、
吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

B-2-6* 踵骨の一部を削り二期的に分層植皮で再建した熱傷癒痕癌

中島康爾 (なかじま こうじ)、吉川未雪、原 憲司、相樂千尋、中野 創、澤村大輔
弘前大学 皮膚科

B-2-7* 短期間に急速に増大したケラトアkantoma型有棘細胞癌の 1 例

袋 幸平 (ふくろ こうへい)、茂木いづみ、安田綾子、岡村友紀、向所純子、池田信昭
横浜市立大学市民総合医療センター

B-2-8* Spindle cell squamous cell carcinoma の 1 例

北嶋友紀¹ (きたじま ゆき)、久米典子¹、松田智子¹、植木瑤子¹、田嶋安紀¹、清原隆宏²、
谷崎英昭¹
¹関西医科大学 皮膚科、²関西医科大学総合医療センター 皮膚科

11:50~12:50 ランチョンセミナー 2 【進行期メラノーマの治療戦略】 抄録 P. 95

座長：宇原 久 (札幌医科大学 皮膚科)
為政 大幾 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)**LS2-1** 進化する悪性黒色腫の治療：免疫療法の現在と複合免疫療法の開発藤村 卓 (ふじむら たく)
東北大学 皮膚科**LS2-2** 進行期メラノーマの薬物治療前川武雄 (まえかわ たけお)
自治医科大学 皮膚科

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

13:00~14:30 教育講演 1 【ガイドライン・クイック解説】 抄録 P. 63

座長：門野 岳史 (聖マリアンナ医科大学 皮膚科)
森田 明理 (名古屋市立大学 皮膚科)**EL1-1** 有棘細胞癌診療ガイドライン 2020 の概要について安齋眞一 (あんさい しんいち)
日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科**EL1-2** 乳房外パジェット病ガイドラインの Topics吉野公二 (よしの こうじ)
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科**EL1-3** 皮膚血管肉腫ガイドラインの解説藤澤康弘 (ふじさわ やすひろ)
筑波大学 皮膚科**EL1-4** ガイドラインに基づく基底細胞癌の治療帆足俊彦¹ (ほあし としひこ)、石川雅士²、上原治朗³、大芦孝平²、前田進太郎⁴、
加藤潤史⁵、猿田 寛⁶、中村善雄⁷、古賀弘志⁸、菅谷 誠⁹¹日本医科大学 皮膚科、²埼玉県立がんセンター 皮膚科、³がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科、⁴金沢大学 皮膚科、⁵札幌医科大学 皮膚科、⁶久留米大学 皮膚科、⁷慶應義塾大学 皮膚科、⁸信州大学 皮膚科、⁹国際医療福祉大学 皮膚科

座長：橋本 一郎（徳島大学 皮膚科）
清原 祥夫（静岡がんセンター 皮膚科）

EL3-1 こんなときどうする？—鼻部悪性腫瘍への診療戦略—

松下茂人（まつした しげと）、青木恵美、山村健太郎
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

EL3-2 眼瞼の再建手術

中川雅裕¹（なかがわ まさひろ）、安永能周²、松下友樹¹、太田悠介¹、山田萌絵¹、
東堂暢子¹
¹浜松医科大学 形成外科、²静岡がんセンター 再建・形成外科

C 会場 (3F グランデⅢ)

9:00~9:55

一般演題 3 【メラノーマ (1)】

抄録 P. 125

座長：清原 隆宏 (関西医科大学総合医療センター 皮膚科)
鈴木 民夫 (山形大学 皮膚科)

C-1-1 先天性色素性母斑より生じた BRAF 遺伝子変異陽性悪性黒色腫の 2 例

紺野隆之 (こんの たかゆき)、荒木勇太、中野祥子、逸見愛美、鈴木民夫
山形大学 皮膚科

C-1-2 BRAF 遺伝子変異陽性の足の末端黒子型メラノーマの 8 例

前 琴絵 (まえ ことえ)、杉原 悟、山崎 修、森実 真
岡山大学

C-1-3 臍径と膝窩にセンチネルリンパ節を認め、微小転移があった足底悪性黒色腫の 1 例

早川数馬 (はやかわ かずま)、入澤亮吉、前賢一郎、脇本紘子、村松正法、原田和俊
東京医科大学 皮膚科

C-1-4 肛門部にみられた悪性黒色腫の 1 例

阿部倫大 (あべ みちひろ)、岩下宣彦、渡辺大輔、足立和規、松村卓樹
愛知医科大学

C-1-5 病理解剖にて判明した肛門管部原発の悪性黒色腫の 1 例

杉原 悟¹ (すぎはら さとる)、藤井江利子¹、中井友美¹、野村隼人¹、山崎 修¹、
森実 真¹、大原利章²、眞部恵子³、守山喬史⁴

¹岡山大学 皮膚科、²岡山大学 病理学 (免疫病理)、³岡山医療センター 皮膚科、
⁴岡山医療センター 血液内科

C-1-6 子宮体癌再発と鑑別を要した腭悪性黒色腫の 1 例

中島有香 (なかじま ゆうか)、大塚俊宏、森脇真一
大阪医科大学 皮膚科

C-1-7* 小線源療法による腭悪性黒色腫の局所制御について

石黒暁寛¹ (いしぐろ あきひろ)、緒方 大¹、大熊加恵²、筒井啓太¹、名嘉眞健太¹、
陣内駿一¹、並川健二郎¹、高橋 聡¹、伊丹 純²、山崎直也¹

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

座長：元村 尚嗣 (大阪市立大学 形成外科)
林 利彦 (旭川医科大学 形成外科)

- C-2-1** 肉眼的無疹部にも病変を認めた多中心性無色素性の末端黒子型黒色腫
水田康生 (みずた やすき)、瀧川充希子、眞部恵子、浅越健治
岡山医療センター 皮膚科
- C-2-2** BRAF 遺伝子 V600R 変異を有した原発不明悪性黒色腫の 1 例
栗山春香 (くりやま はるか)、木村俊寛、本多教稔、牧野貴充、福島 聡
熊本大学 皮膚科
- C-2-3*** 家族性悪性黒色腫の 1 例
加勢夕季乃¹ (かせ ゆきの)、結城明彦¹、安齋 理¹、林 良太¹、重原庸哉²、
阿部理一郎¹、松山麻子³
¹新潟大学 皮膚科、²杏林大学 皮膚科、³新潟医療センター 皮膚科
- C-2-4** 多発青色母斑患者に生じた転移性悪性黒色腫
金岡亜也加 (かねおか あやか)、佐藤沙耶加、佐々木奈津子、岡田悦子、中村元信
産業医科大学 皮膚科
- C-2-5*** 遺伝性角化症に併発した悪性黒色腫の 2 例
三宅知美 (みやけ ともみ)、宮川卓也、永井幸司郎、尾松 淳、高岡真梨子、
淡路健太郎、船水 薫、山田大資、佐藤伸一
東京大学
- C-2-6*** 腋窩リンパ節領域と原発巣の間にセンチネルリンパ節を認めた背部悪性黒色腫の 1 例
田頭良介^{1,2} (たがしら りょうすけ)、朱 樹李¹、川原 祐^{1,3}、稲福和宏¹
¹君津中央病院 皮膚科、²千葉大学 皮膚科、
³埼玉医科大学国際医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科
- C-2-7** 悪性黒色腫のセンチネルリンパ節転移に対する経過観察—リンパ節郭清例との比較検討—
松井 悠^{1,2} (まつい ゆう)、佐々木仁^{1,3}、高塚純子¹、竹之内辰也¹
¹新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科、³新潟大学 皮膚科
- C-2-8** 術前にダブラフェニブ/トラメチニブを投与した耳前部原発悪性黒色腫の 1 例
脇 裕磨 (わき ゆうま)、延山嘉眞、朝比奈昭彦
東京慈恵会医科大学 皮膚科

11:50~12:50 ランチョンセミナー 3【メラノーマ治療における Asian collaboration に向けて】
抄録 P. 97

座長：門野 岳史（聖マリアンナ医科大学 皮膚科）

LS3-1 アジアにおけるメラノーマ診療のマイルストーン

松下茂人（まつした しげと）
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

LS3-2 アジアにおけるメラノーマ診療の現状と今後の展望

緒方 大（おがた だい）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:00~13:40 一般演題 9【メラノーマ (3)】 抄録 P. 129

座長：古賀 弘志（信州大学 皮膚科）
川村 龍吉（山梨大学 皮膚科）

C-3-1 当科における免疫チェックポイント阻害薬によるメラノーマ術後補助療法の使用経験

角総一郎（かど そういちろう）、前川武雄、神谷浩二、小宮根真弓、大槻マミ太郎
自治医科大学

C-3-2 当科における進行期悪性黒色腫に対する術後補助療法のまとめ

中村謙太（なかむら けんた）、芦田敦子、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

C-3-3 当科における III/IV 期悪性黒色腫に対する根治術後補助療法開始後に再発した症例の検討

森章一郎（もり しょういちろう）、茜部穂波、奥村真央、浦田 透、村上佳恵、
横田憲二、秋山真志
名古屋大学

C-3-4 心転移をきたした悪性黒色腫の 2 例

堀本浩平（ほりもと こうへい）、半田俊也、丸尾亜紀、佐々木洋、細川夕菜、
松井馨之、藤岡茉生、箕輪智幸、佐藤さゆり、宇原 久
札幌医科大学 皮膚科

C-3-5* 心臓転移切除を含む集学的治療により長期生存している悪性黒色腫の 1 例

六戸大樹¹（ろくのへ だいき）、滝吉典子¹、中島康爾¹、会津隆幸¹、中野 創¹、
澤村大輔¹、金子高英²
¹弘前大学 皮膚科、²順天堂大学浦安病院 皮膚科

座長：原田 和俊 (東京医科大学 皮膚科)
猪爪 隆史 (千葉大学 皮膚科)

C-4-1 眼瞼結膜悪性黒色腫に対し BRAF・MEK 阻害剤が有効であった 1 例

三浦慎平¹ (みうら しんぺい)、渡辺彩乃¹、渡部大輔¹、天野博雄¹、鳴海新平²
¹岩手医科大学 皮膚科、²岩手医科大学 眼科

C-4-2 集学的治療により完全寛解に至った進行期悪性黒色腫の 1 例

古館禎騎 (ふるだて さだのり)、藤村 卓、大熊崇生、山崎絵美、高橋隼也、
土山健一郎、神林由美、橋本 彰、相場節也
東北大学 皮膚科

C-4-3* 分子標的薬奏効後に急激に死の転帰をとった背部原発悪性黒色腫の 1 例

陣内駿一 (じんない しゅんいち)、高橋 聡、日置紘二郎、山川浩平、緒方 大、
山崎直也
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

C-4-4 BRAF/MEK 阻害薬奏功中に卵巣癌と子宮体癌を発症した頭部悪性黒色腫の 1 例

杉野仁美 (すぎの ひとみ)、尾本大輔、岡田悦子、中村元信
産業医科大学 皮膚科

C-4-5 エンコラフェニブ・ビニメチニブ内服開始初日に漿液性網膜剥離を来した悪性黒色腫の 1 例

佐藤洋平¹ (さとう ようへい)、小林英資¹、角田麻理²、大山 学¹
¹杏林大学 皮膚科、²杏林大学 眼科

9:00~10:05 一般演題 5 【脈管系腫瘍】

抄録 P. 140

座長：神人 正寿 (和歌山県立医科大学 皮膚科)
野村 正 (神戸大学 形成外科)

- D-1-1** 皮膚血管肉腫における三次リンパ様構造と予後との相関
真柄徹也 (まがら てつや)、中村元樹、野尻由佳、吉満真紀、加納慎二、松原章宏、
加藤裕史、森田明理
名古屋市立大学
- D-1-2** weekly パクリタキセル療法が奏功した顔面多発脈管肉腫の 1 例
岩永 聡 (いわなが あきら)、鋤塚 大、室田浩之
長崎大学 皮膚科・アレルギー科
- D-1-3*** 後頭部の出血性潰瘍で救急外来を受診した頭部血管肉腫の 1 例
関根史織¹ (せきね しおり)、八代 浩¹、長谷川義典¹、長谷川巧²、飯野志郎²、
馬場夏希²、尾山徳孝²、長谷川稔²
¹福井県済生会病院 皮膚科、²福井大学 皮膚科
- D-1-4*** 事故後血腫からの発症が疑われた血管肉腫の 2 例
齋藤晋太郎 (さいとう しんたろう)、安田正人、金 滋仁、西尾麻由、岸 史子、
茂木精一郎
群馬大学 皮膚科
- D-1-5** Weekly PTX (パクリタキセル) 療法が有効だった乳癌術後の放射線照射後
皮膚血管肉腫の 1 例
軽部大希 (かるべ だいき)、佐藤篤子、神谷浩二、前川武雄、小宮根真弓、
大槻マミ太郎
自治医科大学
- D-1-6** 京都府立医科大学皮膚科で治療した血管肉腫 23 例の検討
沢田広子 (さわだ ひろこ)、大下彰史、小森敏史、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科
- D-1-7*** ラムシルマブ投与中に生じた毛細血管拡張性肉芽腫の 1 例
濱田健吾 (はまだ けんご)、正畠千夏、小川浩平、宮川 史、新熊 悟、浅田秀夫
奈良県立医科大学
- D-1-8** HIV 感染者の足底に生じた化膿性肉芽腫様カポジ肉腫の 1 例
文 省太 (ぶん しょうた)、出野りか子、池田 彩、小澤健太郎
大阪医療センター

座長：神谷 秀喜（木沢記念病院 皮膚科・皮膚がんセンター）
八田 尚人（富山県立中央病院 皮膚科）

D-2-1 超高齢女性 2 例の外陰部パジェット病に対する外用治療

芳賀貴裕（はが たかひろ）、大熊崇生
気仙沼市立病院 皮膚科

D-2-2 外陰部 Paget 病の手術から 8 年後に両側腋窩 Paget 病を発症した 1 例

佐藤真由（さとう まゆ）、渡邊幸奈、猪狩翔平、松村奈津子、森 龍彦、平岩朋子、
菊池信之、花見由華、大塚幹夫、山本俊幸
福島県立医科大学

D-2-3* 男性乳癌と乳房外 Paget 病併存例の 1 例

加納宏行¹（かのう ひろゆき）、後藤祐介¹、伊藤 満¹、藤井麻美¹、細野芳樹²、
渡部直樹³、田中卓二³
¹岐阜市民病院 皮膚科、²岐阜市民病院 乳腺外科、³岐阜市民病院 病理診断科

D-2-4* 右腋窩の浸潤病変を伴う両腋窩、臍部、陰部、4 か所の多発乳房外パジェット病の 1 例

長井拓哉（ながい たくや）、東海林怜、小松田恵理子、千葉貴人、河野通浩
秋田大学

D-2-5 転移性乳房外 Paget 病に対して化学療法を施行した 3 例

望月亮佐（もちづき りょうすけ）、那須 愛、中村 彩、田井志正、長野 徹
神戸市立医療センター中央市民病院

D-2-6 進行期乳房外パジェット病に対する S-1/DOC 併用療法の有効性—多施設後方視的研究—

山村健太郎¹（やまむら けんたろう）、藤井一恭²、梶原一亨³、青木恵美¹、多田浩一²、
金蔵拓郎²、青井 淳³、福島 聡³、松下茂人¹
¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²鹿児島大学 皮膚科、³熊本大学 皮膚科

D-2-7 遠隔転移を生じた乳房外パジェット病 40 例の治療成績

筒井啓太^{1,2}（つつい けいた）、緒方 大¹、陣内駿一¹、名嘉眞健太¹、日置紘二郎¹、
山川浩平¹、石黒暁寛¹、並川健二郎¹、高橋 聡¹、山崎直也¹
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²福岡大学 皮膚科

座長：菅谷 誠 (国際医療福祉大学 皮膚科)

LS4 再発/難治性 CTCL の治療の現状とこれから
ーデニロイキン ジフチトクスの位置づけについてー米倉健太郎 (よねくら けんたろう)
今村総合病院 皮膚科

共催：エーザイ株式会社

座長：長野 徹 (神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科)
八木 宏明 (静岡県立総合病院 皮膚科)**D-3-1** エンコラフェニブ・ビニメチニブ併用療法開始翌日までに漿液性網膜剥離症
を生じた進行期悪性黒色腫の 2 例長谷川巧¹ (はせがわ たくみ)、飯野志郎¹、藤崎美沙子¹、岡村咲由莉¹、馬場夏希¹、
尾山徳孝¹、長谷川稔¹、竹内裕子²、田中 波²、河原謙一³
¹福井大学 皮膚科、²福井大学 眼科、³河原皮膚科 敦賀市**D-3-2*** ダブラフェニブ、トラメチニブ投薬開始後に網膜剥離症を生じた 1 例森 智史 (もり さとし)、金井美馬、金子ゆき、鈴木利宏、林周次郎、井川 健
獨協医科大学 皮膚科**D-3-3** ダブラフェニブ+トラメチニブの術後補助療法における新たな発熱管理アルゴ
リズム (COMBI-APlus)山崎直也¹ (やまざき なおや)、Michael Lau²
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²Novartis Pharma AG, Basel, Switzerland**D-3-4** ダブラフェニブ、トラメチニブ内服中に心不全を発症した悪性黒色腫の 1 例別木祐介¹ (べっき ゆうすけ)、大熊未佳¹、加持達弥¹、戸井洋一郎¹、檜垣忠直²
¹広島市民病院 皮膚科、²広島市民病院 循環器内科**D-3-5** 当科における進行期メラノーマに対する BRAF/MEK 阻害薬併用療法 4 症例
の検討横見明典 (よこみ あきのり)、玉井昌和、後藤範子
市立豊中病院 皮膚科

座長：山崎 修 (岡山大学 皮膚科)
藤村 卓 (東北大学 皮膚科)

D-4-1 当科で使用した根治切除不能の悪性黒色腫に対する BRAF/MEK 阻害剤併用の使用経験

大熊崇生 (おおくま たかみ)、藤村 卓、神林由美、古舘禎騎、武藤雄介、大内謙太郎、天貝 諒、千葉広夢、橋本 彰、相場節也
東北大学 皮膚科

D-4-2 悪性黒色腫肺転移に対して nivolumab にて加療した色素性乾皮症バリエーションの 1 例

上田佳奈¹ (うえだ かな)、小野竜輔¹、大郷真理子¹、松本由佳里¹、鷲尾 健²、錦織千佳子¹
¹神戸大学 皮膚科、²神戸市立西神戸医療センター 皮膚科

D-4-3 巨大腋窩リンパ節腫脹より診断した腋窩悪性黒色腫に対しニボルマブ+イピリムマブ併用療法後に郭清した 1 例

梅田善康 (うめだ よしやす)、中村泰大、石月翔一郎、寺本由紀子、山本明史
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

D-4-4 当科での免疫チェックポイント阻害薬の使用経験のまとめ

武藤容典 (むとう よしのり)、出口順啓、大沼毅紘、島田眞路、川村龍吉
山梨大学 皮膚科

D-4-5 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法を行った悪性黒色腫 9 例の検討

多田瑞穂 (ただ みづほ)、高木杏子、西依 諒、内村公美、生野知子、石川一志、波多野豊
大分大学 皮膚科

9:00~10:05 一般演題7【リンフォーマ (1)】

抄録 P. 158

座長：河井 一浩（新潟医療生活協同組合木戸病院 皮膚科）
島内 隆寿（浜松医科大学 皮膚科）

E-1-1 皮膚 T 細胞性リンパ腫患者を対象にタルグレチン+光線併用療法をタルグレチン単独療法と比較検討した研究

森田明理¹（もりた あきみち）、立石千晴²、井汲今日子¹、林 大輔²、中田 礼¹、西原春奈¹、鳥居 寛¹、西田絵美³、鶴田大輔²

¹名古屋市立大学 皮膚科、²大阪市立大学 皮膚科、³岡崎市民病院 皮膚科

E-1-2 シングルセル RNA-seq 解析を行った菌状息肉症の 1 例

北佳奈子（きた かなこ）、今井康友、尼木麻実、藤本真由、永井 諒、夏秋 優、金澤伸雄

兵庫医科大学 皮膚科

E-1-3 ゲムシタビン、トモセラピー、プラトトレキサートを試みたセザリー症候群の 1 例

菅谷 誠¹（すがや まこと）、齊藤日向子¹、重野和彦¹、遠山哲夫¹、森村壮志¹、大西かよ子²

¹国際医療福祉大学 皮膚科、²国際医療福祉大学 放射線科

E-1-4* シクロスポリン投与後に発症したセザリー症候群の 1 例

石川優人（いしかわ ゆうと）、島内隆寿、影山玲子、富田和貴、本田哲也

浜松医科大学 皮膚科

E-1-5 デュピルマブで顕在化した菌状息肉症の 1 例

宮内一成（みやうち いっせい）、藤井一恭、指宿敦子、久留光博、野元裕輔、金蔵拓郎

鹿児島大学 皮膚科

E-1-6 CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例

上塘葉子¹（かみとも ようこ）、武田浩一郎¹、玉井真理子¹、佐藤浩子¹、二之宮謙次郎²、田代幸恵²、米倉健太郎¹

¹今村総合病院 皮膚科、²今村総合病院 病理診断科

E-1-7* 経過中に CD56 が陽性化していった菌状息肉症の 1 例

齊藤 舞¹（さいとう まい）、福田 萌²、森下ナオミ²、中澤慎介²、島内隆寿²、本田哲也²

¹JA 静岡厚生連遠州病院 皮膚科、²浜松医科大学 皮膚科

E-1-8 放射線治療とブレンツキシマブベドチンが奏効した菌状息肉症の骨髄転移

田中彩恵¹（たなか さえ）、大黒督子¹、佐野栄紀¹、青山直樹²

¹高知大学、²同 整形外科

座長：大塚 幹夫（福島県立医科大学 皮膚科）
米倉健太郎（今村総合病院 皮膚科）

- E-2-1** リンパ節内に好中球浸潤を伴った血管芽球性 T 細胞リンパ腫
濱田利久¹（はまだ としひさ）、蓮井謙一¹、神野真理²、大野博文³、細川洋一郎¹
¹高松赤十字病院 皮膚科、²高松赤十字病院 病理科、³高松赤十字病院 血液内科
- E-2-2*** CHOP 療法を行った末梢性 T 細胞リンパ腫、非特定型の 1 例
海野俊徳¹（うんの としのり）、内山倫宏²
¹諏訪赤十字病院 皮膚科、²諏訪赤十字病院 血液内科
- E-2-3*** 小児期に寛解し 20 年後から再発を繰り返す ALK 陰性未分化大細胞リンパ腫の 1 例
松田絵奈¹（まつだ えな）、佐藤絵美¹、川崎彩加¹、清水裕毅¹、鶴田紀子¹、
佐々木秀法²、今福信一¹
¹福岡大学 皮膚科、²福岡大学 腫瘍・血液・感染症内科
- E-2-4*** ブレンツキシマブ・ベドチンが奏効した CD30 陽性 lymphomatoid neoplasm の 2 例
菅原基史（すがわら もとし）、福山茉莉花、松谷泰祐、松尾梨沙、岸部麻里、山本明美
旭川医科大学
- E-2-5** 両側眼瞼腫脹を主症状とした節外性 NK/T 細胞リンパ腫（鼻型）の 1 例
古川史奈（ふるかわ ふみな）、牧野輝彦、清水忠道
富山大学 皮膚科
- E-2-6** 下腿潰瘍を生じたメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例
高島彩加¹（たかしま あやか）、荒川幸保¹、浅井 純¹、加藤則人¹、森永友紀子²、
嶋田恵理²、塚本 拓³
¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 病理診断科、³京都府立医科大学 血液内科
- E-2-7** 関節リウマチ患者に生じたメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 2 症例
佐野悠子（さの ゆうこ）、後藤晴香、増田百合香、八木宏明
静岡県立総合病院 皮膚科
- E-2-8** デュピルマブ投与中に生じたホジキンリンパ腫の 1 例
久本晃義¹（ひさもと てるよし）、坊木ひかり¹、管 析¹、住田隼一¹、佐藤伸一¹、
中崎久美²、藤澤晴菜²、黒川峰夫²、池村雅子³、牛久 綾³
¹東京大学 皮膚科、²東京大学 血液内科、³東京大学 病理診断科

座長：高橋 聡 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)
並木 剛 (東京医科歯科大学 皮膚科)

E-3-1 ニボルマブによる免疫関連有害事象として間質性肺炎と末梢循環不全を認め
た鼻腔悪性黒色腫の 1 例

関山紘子¹ (せきやま ひろこ)、勝又文徳¹、脇 裕磨¹、大村和弘²、延山嘉真¹、
朝比奈昭彦¹

¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、²東京慈恵会医科大学 耳鼻科

E-3-2 ニボルマブでの術後補助療法後に多発肺結節が出現し、サルコイド様反応と診
断した病期 III の悪性黒色腫の 1 例

林健太郎 (はやし けんたろう)、高橋健造
琉球大学

E-3-3* 口腔メラノーマに対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法中に発症した硬
化性胆管炎の 1 例

勝家志歩¹ (かついえ しほ)、面高俊和¹、鈴木里香¹、二瓶達也¹、高沢裕子¹、中村謙太¹、
木庭幸子¹、奥山隆平¹、若林俊一²

¹信州大学 皮膚科、²信州大学 消化器内科

E-3-4 Nivolumab/Ipilimumab 療法の grade 4 肝機能障害にミコフェノール酸モ
フェチルが奏効した悪性黒色腫の 1 例

佐藤あゆみ¹ (さとう あゆみ)、田口良吉¹、竹内瑞希¹、高橋 彩¹、佐藤良樹¹、
福田知雄¹、名越澄子²、須田健太郎²

¹埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科、²埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科

E-3-5 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法により好中球減少をきたした 1 例

大西友理 (おおにし ゆり)、大下彰史、中江 真、沢田広子、小森敏史、浅井 純、
加藤則人

京都府立医科大学 皮膚科

座長：中村 泰大 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)
渡辺 大輔 (愛知医科大学 皮膚科)

E-4-1 ニボルマブ+イピリムマブ併用療法による右ベーカー嚢胞破裂の 1 例

久保麻梨絵¹ (くぼ まりえ)、大橋洋之¹、貴志有紗¹、宮野 薫¹、岡野達郎¹、
武藤真悠子¹、竹内そら¹、宮垣朝光¹、門野岳史¹、今村 充²

¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²同 リウマチ膠原病・アレルギー内科

E-4-2 Nivolumab/Ipilimumab 併用療法中の心・腎機能への影響について

上原治朗 (うえはら じろう)、豊島梨乃、中川智絵、前田拓哉、日浦 梓、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

E-4-3 悪性黒色腫に対してダカルバジンを投与した症例の検討

日置紘二郎 (ひき こうじろう)、緒方 大、石黒暁寛、山川浩平、筒井啓太、
名嘉眞健太、陣内駿一、並川健二郎、高橋 聡、山崎直也
国立がん研究センター中央病院

E-4-4 A Phase 1 Study of Safety/Efficacy of T-VEC in Unresectable Stage IIIB-IV Melanoma Patients in Japan

Satoshi Fukushima¹、Taiki Isei²、Yoshio Kiyohara³、Hiroshi Koga⁴、
Takashi Kojima⁵、Tatsuya Takenouchi⁶、Kenji Yokota⁷、Min Yi⁸、
Alissa Keegan⁸、Naoya Yamazaki⁹

¹Department of Dermatology and Plastic Surgery, Kumamoto University, Japan、

²Department of Dermatologic Oncology, Osaka International Cancer Institute, Japan、

³Division of Dermatology, Shizuoka Cancer Center Hospital, Japan、

⁴Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Japan、

⁵Department of Gastroenterology and Gastrointestinal Oncology,
National Cancer Center Hospital East, Japan、

⁶Division of Dermatology, Niigata Cancer Center Hospital, Japan、

⁷Department of Dermatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Japan、

⁸Amgen Inc., Thousand Oaks, CA, USA、

⁹Department of Dermatologic Oncology, National Cancer Center Hospital, Japan

E-4-5 センチネルリンパ節転移陽性であった Atypical spitz tumor の 1 例

松谷泰祐¹ (まつや たいすけ)、土井春樹¹、林 圭¹、菅原基史¹、小林孝弘¹、
高橋千晶²、飯沼 晋²、山本明美¹

¹旭川医科大学 皮膚科、²北見赤十字病院 皮膚科